



# 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月10日

上場会社名 技研興業株式会社

上場取引所 東

コード番号 9764 URL <http://www.gikenko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 温

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 会田 直樹 TEL 03-3398-8500

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	10,992	20.1	960	201.3	942	212.6	549	130.3
25年3月期第3四半期	9,154	48.7	318	—	301	—	238	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 573百万円 (127.4%) 25年3月期第3四半期 252百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	33.63	—
25年3月期第3四半期	14.57	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	11,259	6,194	55.0
25年3月期	10,877	5,700	52.4

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 6,194百万円 25年3月期 5,700百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,050	12.4	1,130	120.9	1,100	126.0	730	96.4	44.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	16,640,000 株	25年3月期	16,640,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	376,197 株	25年3月期	267,544 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	16,338,509 株	25年3月期3Q	16,379,833 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる過程及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」の各項目をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日本銀行の財政金融政策による政策効果等により、設備投資や雇用環境の持ち直しの兆しがみられ、企業収益が改善されるなど、景気は緩やかな回復基調となりました。しかしながら、海外経済の動向や消費税率の引上げにともなう下振れリスクが懸念される等、景気の先行きについては懸念材料もあることから、本格的な景気回復には不透明感を残したまま推移いたしました。

当建設関連業界におきましては、緊急経済対策関連事業の執行等により公共工事の発注は底堅く推移いたしました。建設需要の増加を受け、建設資材や技能労働者の需給逼迫懸念からコスト上昇圧力も一段と強まる等、依然として予断を許さない事業環境が続きました。

このような状況の中、当企業集団は、社会資本整備の一翼を担う企業集団として事業活動を通じた東日本大震災の復旧・復興支援に尽力するとともに経営資源の効率化や再配分を推進し積極的な営業活動を展開した結果、受注高は、前年同期比12.8%増の13,487百万円となりました。売上高は、前連結会計年度末の受注残高が相当程度あったこと及び受注の拡大が売上高に貢献したこと等から、前年同期比20.1%増の10,992百万円となりました。

利益面につきましては、建設関連業界特有の季節的な要因及び工事単価の上昇等から、土木関連事業では固定経費を吸収できず営業損失となりましたが、比較的採算性の良い型枠貸与関連事業の売上高が大きく伸長したことや、一部のセグメントでは受注案件の絞り込みを実施したこと等から、営業損益は、前年同期比201.3%増の960百万円の利益、経常損益は、前年同期比212.6%増の942百万円の利益、四半期純損益は、前年同期比130.3%増の549百万円の利益を達成し、増収増益となりました。なお、次期繰越高は、前年同期比13.6%増の7,434百万円となっております。

当企業集団の前期繰越受注高、受注高、売上高、次期繰越高は次のとおりであります。

期間（年度）別	前期繰越受注高 （千円）	受注高 （千円）	売上高 （千円）	次期繰越高 （千円）
前第3四半期連結累計期間	3,748,636	11,951,770	9,154,827	6,545,578
当第3四半期連結累計期間	4,939,401	13,487,544	10,992,431	7,434,515

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は、次のとおりであります。なお、セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (土木関連事業)

受注高は4,180百万円（前年同期比8.7%増）、売上高は3,068百万円（前年同期比13.9%増）、セグメント損益は113百万円の損失（前年同期は154百万円の損失）となりました。

## (建築関連事業)

受注高は5,691百万円（前年同期比16.6%増）、売上高は4,190百万円（前年同期比12.3%増）、セグメント損益は330百万円の利益（前年同期比54.0%増）となりました。

## (型枠貸与関連事業)

受注高は3,336百万円（前年同期比15.6%増）、売上高は3,363百万円（前年同期比46.1%増）、セグメント損益は909百万円の利益（前年同期比102.2%増）となりました。

## (ハウジング事業)

受注高は236百万円（前年同期比14.9%減）、売上高は328百万円（前年同期比10.4%減）、セグメント損益は43百万円の利益（前年同期は21百万円の損失）となりました。

## (不動産賃貸事業)

受注高は41百万円（前年同期比31.4%減）、売上高は41百万円（前年同期比31.8%減）、セグメント損益は30百万円の利益（前年同期比32.9%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末(平成25年12月31日)における総資産は、前連結会計年度末(平成25年3月31日)に比べ382百万円増加し11,259百万円となりました。これは四半期純損益が549百万円の利益となったことにより現金預金等の流動資産が増加したこと及び新設備の取得等により固定資産が増加したことによるものであります。

また、負債合計は、5,065百万円となり、前連結会計年度末に比べ111百万円減少しました。これは、未払法人税等の増加があった一方、工事未払金等の仕入債務の支払いによる減少、短期借入金の返済による減少等によるものであります。

純資産は、剰余金の配当が49百万円あったものの、当第3四半期連結累計期間の四半期純損益が549百万円の利益となったこと等により前連結会計年度末に比べ493百万円増加し6,194百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.6ポイント上昇し55.0%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期連結業績予想等につきましては、土木関連事業、型枠貸与関連事業を中心に震災復興支援関連の事業が相当程度上積みされる見通しであることから、平成25年8月1日に開示いたしました平成26年3月期の通期連結業績予想を上方修正することといたしました。前回発表予想との差異は以下のとおりであります。詳細は本日(平成26年2月10日)別途開示しております「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」を併せてご覧ください。

なお、業績予想の上方修正とともに配当予想も1株当たり4円から5円に増配の予定としております。

(通期連結業績予想)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想(A)	14,400	830	810	470	28.71
今回発表予想(B)	15,050	1,130	1,100	730	44.68
増減額(B-A)	650	300	290	260	—
増減率(%)	4.5	36.1	35.8	55.3	—
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	13,389	511	486	371	22.70

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第3四半期連結累計期間において、連結子会社であった株式会社ゼックスは清算したため、連結の範囲から除外しております。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	1,073,640	1,399,874
受取手形・完成工事未収入金等	5,011,128	4,583,574
有価証券	—	300,043
その他のたな卸資産	332,388	240,507
その他	146,102	257,323
貸倒引当金	△58,465	△72,110
流動資産合計	6,504,794	6,709,212
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,237,129	2,237,129
その他(純額)	1,722,120	1,542,055
有形固定資産合計	3,959,249	3,779,185
無形固定資産		
その他	16,479	15,457
無形固定資産合計	16,479	15,457
投資その他の資産		
投資有価証券	262,685	299,839
その他	185,714	504,127
貸倒引当金	△51,296	△47,937
投資その他の資産合計	397,102	756,029
固定資産合計	4,372,832	4,550,672
資産合計	10,877,626	11,259,885
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金等	1,624,762	1,405,948
短期借入金	1,190,599	1,074,778
未払法人税等	169,151	320,081
未成工事受入金	217,511	248,164
引当金	141,756	109,610
その他	492,781	541,663
流動負債合計	3,836,563	3,700,247
固定負債		
社債	298,500	242,200
長期借入金	795,480	901,804
退職給付引当金	86,178	67,743
その他	160,486	153,593
固定負債合計	1,340,645	1,365,340
負債合計	5,177,208	5,065,587

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,120,000	1,120,000
資本剰余金	1,473,843	1,473,843
利益剰余金	3,039,451	3,539,842
自己株式	△33,421	△63,845
株主資本合計	5,599,872	6,069,839
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100,545	124,457
その他の包括利益累計額合計	100,545	124,457
純資産合計	5,700,417	6,194,297
負債純資産合計	10,877,626	11,259,885

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	9,154,827	10,992,431
売上原価	7,894,577	9,022,919
売上総利益	1,260,250	1,969,511
販売費及び一般管理費	941,446	1,009,011
営業利益	318,803	960,499
営業外収益		
受取利息	1,553	1,042
受取配当金	4,587	8,320
物品売却益	—	4,302
受取補償金	233	872
その他	5,774	3,717
営業外収益合計	12,148	18,254
営業外費用		
支払利息	24,719	25,283
支払手数料	—	4,500
その他	4,713	6,418
営業外費用合計	29,432	36,202
経常利益	301,520	942,552
特別利益		
固定資産売却益	—	7
受取損害賠償金	13,370	6,200
特別利益合計	13,370	6,207
特別損失		
固定資産売却損	84,902	—
固定資産除却損	4,878	14,002
その他	710	—
特別損失合計	90,490	14,002
税金等調整前四半期純利益	224,400	934,757
法人税、住民税及び事業税	47,698	389,126
法人税等調整額	△61,888	△3,877
法人税等合計	△14,190	385,248
少数株主損益調整前四半期純利益	238,590	549,508
四半期純利益	238,590	549,508



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	238,590	549,508
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,609	23,912
その他の包括利益合計	13,609	23,912
四半期包括利益	252,200	573,420
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	252,200	573,420
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年10月25日開催の取締役会決議に基づき、自己株式99,505株の取得を行いました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が30,424千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が63,845千円となっております。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

(単位:千円)

	土木関連 事業	建築関連 事業	型枠貸与 関連事業	ハウジング 事業	不動産賃貸 事業	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への 売上高	2,694,251	3,730,741	2,302,302	366,399	61,133	—	9,154,827
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	2,043	△2,043	—
計	2,694,251	3,730,741	2,302,302	366,399	63,176	△2,043	9,154,827
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	△154,614	214,381	449,620	△21,512	45,714	△214,787	318,803

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

(単位:千円)

	土木関連 事業	建築関連 事業	型枠貸与 関連事業	ハウジング 事業	不動産賃貸 事業	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への 売上高	3,068,923	4,190,460	3,363,118	328,266	41,662	—	10,992,431
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	9	—	1,953	△1,962	—
計	3,068,923	4,190,460	3,363,127	328,266	43,615	△1,962	10,992,431
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	△113,380	330,254	909,224	43,181	30,695	△239,476	960,499

(重要な後発事象)

該当事項はありません。